

———— 2008/10/8 ————

「産業保健おいた」メルマガ版(HTML) 第 46 号  
発行:大分産業保健推進センター 所長 三角 順一  
<http://www.oita-sanpo.jp/>



I N D E X

- 所長からのメッセージ  
「秋から冬にかけての病気について」
- TOPICS
  1. 「労働安全衛生法施行令等の一部を改正する政令案要綱」及び「労働安全衛生規則等の一部を改正する省令案要綱」についての労働政策審議会に対する諮問について
  2. 多店舗展開する小売業、飲食業等の店舗における管理監督者の範囲の適正化について
- 今月の Key Word  
【糖尿病】
- 労働衛生事例
  - ・有機溶剤による中毒等(N, Nジメチルホルムアミド)
  - ・特定化学物質による中毒等(塩素)
- 研修・セミナーのご案内(10月・11月)
- 新着情報
  - ・新着冊子のご案内
  - ・新着パンフレットのご案内

---

■■ ■ 所長からのメッセージ ■ ■ ■  
秋から冬にかけての病気について

大分産業保健推進センター  
所長 三角 順一

10月の声を聞いても、日中は、まだ30度を超える暑い日もあります。とはいえ、朝夕は、随分涼しく感じることも多くなって参りました。

さて、毎日、朝早くから、夜遅くまで職場で頑張っておられる皆さん！秋季に気をつけるべき病気には、どんなものがあるのでしょうか？代表的なものについて述べてみたいと思います。何か、少しでも、お役にたてれば、有り難いと思います。

さて、秋と言えば、実りの秋、食欲の秋、天高く馬肥ゆる秋、読書の秋、人肌恋しくなる秋、などと言われますが、これは、秋の特徴をそれぞれ説明するのに役に立ちそうです。秋は、夏とも、冬とも違う、また、春とも異なっている。秋の特徴は、暑さから、寒さに向かう。樹の葉が紅葉し、散っていく。太陽光線の地面に当たる角度は、夏に比べ鈍くなり、日照時間は、短くなり、その分、夜の時間が、長くなってきます。

動物も植物も、冬に向けて自己保存のための準備に、全力を尽くす時期です。秋は、夏と冬の境目で、夏に比べると、涼しく、冬に比べると温かい。気候は温暖で、降雨量は、少なく、晴天の日が多い。空気が乾燥しているので、湿度の高い梅雨の時期に比べて、快適です。

田畑には、稲穂が茂り、木々には、蜜柑、梨、柿、葡萄、栗、銀杏、ザクロが実る。山々には、マツタケ、シメジ、マイタケ、アケビ、山ブドウなど挙げればきりがありません。

さて、この時期の病気は、当然、前述した気候や動植物の生態と極めて関係が深い。また、近年私たちの気温に対する適応能力の低下とも関係します。冷暖房設備の発達により、各家庭では、一部屋1台の時代となり、常に、24、5度以上から26、7度以下の温度を快適と感じるよう馴化しています。従って、室温が、28度ともなれば、「汗が出る、暑い」と感じ、23度以下になると急に「肌寒い」と感じる。温度に対して敏感となり、気持ち良いと感じる温度の幅が、狭くなってきているように思います。

私たちの持つ野性を喪失し、生命力の退化とも言うべき現象が起きています。汗腺の発達は、3歳頃までに完成すると言われている。今日のように小児期から、「アセモができないように、風邪を引かないように」と過保護にされ、冷暖房設備の充実した家屋の中で、成長していく子供たちは、益々弱くなっていくことが危惧される。仕事場では、熱中症にかかり易くなってきます。

寒暖の差が大きく、厳しい体温調節を求められるのも秋季の特徴です。私たちの体は、気温が、低下すると、「寒い」と感じる。寒いと感じたその瞬間に、体温の保持のために、全身の末梢血管は、収縮する。同時に、血圧は上昇し、全身に血液を行き回らせようとする。寒さは、ストレスとなり、副腎皮質から多量のストレス反応ホルモンが分泌される。熱産生のため肝臓からグルコースが、血液中に動員される。タンパク質の分解が亢進する。血圧が高く、しかも動脈硬化が進んでいて血管が脆くなっている人は、脳出血、くも膜下出血、および脳梗塞などの脳血管疾患や心筋梗塞などの虚血性心疾患にかかり易くなります。

また、免疫に関与する臓器の血管も、リンパ管も、同様に、その活動は、低下するので、風邪などを引きやすくなって参ります。また、人間の抵抗力が低下した、その隙を狙って、夏場の体調の良い時には、体内に抑え込まれていたウイルス、細菌、原虫などは、ここぞとばかり勢いを増してきます。扁桃腺炎、虫歯、腎盂炎、中耳炎、咽頭炎、および、気管支炎や喘息などが、再発したり、悪化したりします。免疫力の弱っている人は、日和見感染による肺炎などが起こり易くなります。

この季節には、セイタカアワダチソウやカヤ等による花粉症も起こってきます。胃潰瘍や十二指腸潰瘍が、再発したりするのもこの季節です。精神疾患が、悪化したり、再燃したりするとも言われております。日中の温度と朝方の温度の差が、15度以上となることもありますので、衣類や寝具等の寒さ対策をこまめにするのが大事です。

また、気候も良くなりますので、野外活動に勤しむことが、基礎体力作りには、欠かせません。

---

## ■ TOPICS ■

### 1.「労働安全衛生法施行令等の一部を改正する政令案要綱」及び「労働安全衛生規則等の一部を改正する省令案要綱」についての労働政策審議会に対する諮問について

1 厚生労働大臣から、9月22日、労働政策審議会(会長 菅野 和夫 明治大学法科大学院教授)に対し、別添1のとおり「労働安全衛生法施行令等の一部を改正する政令案要綱」及び「労働安全衛生規則等の一部を改正する省令案要綱」について諮問を行った。これらについては、同審議会安全衛生分科会(分科会長 平野 敏右 千葉科学大学学長)において審議が行われた結果、同日、同審議会から厚生労働大臣に対して、別添2のとおり答申があった。

2 厚生労働省では、この答申を受け、今後、労働安全衛生法施行令等及び労働安全衛生規則等の改正を行い、平成20年12月1日から順次施行する予定である。

3 なお、改正案の概要は別添3、別添4のとおり。

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/09/s0922-4.html> (厚生労働省)

## 2.多店舗展開する小売業、飲食業等の店舗における管理監督者の範囲の適正化について

小売業、飲食業等において、いわゆるチェーン店の形態により相当数の店舗を展開して事業活動を行う企業における比較的小規模の店舗における店長等について、十分な権限、相応の待遇等が与えられていないにもかかわらず労働基準法第41条第2号に規定する管理監督者として取り扱い、長時間の労働が行われ、また、時間外労働に対する割増賃金が支払われないなど不適切な事案がみられるため、今般、全国の労働基準監督署において監督指導を行うとともに、把握した実態を踏まえ、最近の裁判例も参考として、店舗の店長等の管理監督者性の判断に当たっての特徴的な要素を取りまとめ、本日、厚生労働省労働基準局長から都道府県労働局長あて通達(PDF:172KB)した。

この通達において示した管理監督者性の判断に当たっての判断要素は、別添(PDF:70KB)のとおりである。

厚生労働省においては、今後、法令や関係通達の内容と併せて、この通達で示した判断要素の周知を図るとともに、適切な監督指導を実施し、管理監督者の範囲の一層の適正化を図っていくこととしている。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/09/h0909-2.html> (厚生労働省)

---

### ■ ■ 今月の Key Word 【糖尿病】 ■ ■

糖尿病(とうにょうびょう、Diabetes Mellitus: DM)は、糖代謝の異常によって起こるとされ、血糖値(血液中のブドウ糖濃度)が病的に高まることによって、様々な特徴的な合併症をきたす危険性のある病気である。一定以上の高血糖では尿中にもブドウ糖が漏出し尿が甘くなる(尿糖)ため糖尿病の名が付けられた(Diabetes=尿、Mellitus=甘い)。

名前のとおり、血糖が高まる結果、尿中に糖が排出されることになる。しかし尿中に糖が排出されること自体は大きな問題ではなく、糖が利用できない細胞レベルでの飢餓による糖尿病性昏睡や持続的な高血糖による慢性変性である糖尿病慢性期合併症が問題となる。一番多いといわれる2型糖尿病では糖尿病慢性期合併症の予防が最も重要視されている。合併症は治療が困難なものが多く、他の生活習慣病と同じように予防が重要視されている。予防を行うためには早期発見と治療効果判定が不可欠であり、それを目的とした糖尿病の検査が多数存在し、それらを総合的に判断し、治療するという戦略がとられている。

糖尿病の診断は、日本では、日本糖尿病学会 1999 年の診断基準を用いる。空腹時の血糖または 75g 経口ブドウ糖負荷試験で診断する。空腹時に 126mg/dl 以上の血糖があればブドウ糖負荷をしなくても糖尿病型と判定される。

|      | 空腹時血糖(mg/dl) | 2 時間後血糖(mg/dl) |
|------|--------------|----------------|
| 正常型  | 110 未満       | 140 未満         |
| 境界型  | 126 未満       | 200 未満         |
| 糖尿病型 | 126 以上       | 200 以上         |

通常は判定を 2 回繰り返し、2 回とも糖尿病型であれば糖尿病と診断。口渇や多飲、多尿などの典型症状や糖尿病性網膜症が存在する場合や、HbA1c が 6.5%以上である場合は 1 回だけの判定で糖尿病と診断する。

・・・以下略・・・

最終更新 2008 年 8 月 20 日 (水) 16:39

出典:フリー百科事典「ウィキペディア(wikipedia)より一部引用

## ■ ■ 労働衛生事例 ■ ■

### 労働衛生事例(2例—平成19年—)

#### 例1:有機溶剤による中毒等

##### 【有害要因】

N, Nジメチルホルムアミド

##### 【業種】

製造業

##### 【発生日】

10月

##### 【被災者数】

中毒3名

##### 【発生状況】

プラスチック製品工場において、電子機器用フレキシブルプリント基板の製造のため、N, Nジメチルホルムアミドで洗浄作業を行ったところ、有機溶剤が皮膚から体内に侵入し、有機溶剤中毒となった。

##### 【発生原因等】

- ・ 不適切な保護具の使用
  - ・ 安全衛生教育不十分
- 

#### 例2:特定化学物質による中毒等

##### 【有害要因】

塩素

##### 【業種】

製造業

##### 【発生日】

10月

##### 【被災者数】

中毒1名

##### 【発生状況】

次亜塩素酸ソーダのタンクにおいて、次亜塩素酸ソーダをタンクに充填しようとしたところ、誤ってポリ塩化アルミニウムを充填したため、次亜塩素酸ソーダとポリ塩化アルミニウムが化学反応して塩素ガスが発生し、発生した塩素ガスを吸入し、中毒となった。

##### 【発生原因等】

- ・ 危険有害性の認識不足
- ・ 緊急対応マニュアルの未整備
- ・ 呼吸用保護具未着用
- ・ 作業標準の未作成

■ ■ 研修・セミナーのご案内(10月・11月) ■ ■

※赤い字で表記されました日時・会場等は、変更になっています。ご注意ください。

■ 第9回 豊の国産業保健フォーラムメタボリックシンドロームの多面的予防対策

11月13日(木)

時間:13:00~16:30

会場:大分県医師会館 7階 大会議室

大分市大字駄原 2892 番地の1 TEL: 097-532-9121

● 内容 ●

基調講演「メタボ対策と健康心理学」

上野 徳美(大分大学医学部 社会心理学講座 教授 大分産業保健推進センター 基幹相談員)

その他、5名のパネリストによる講演、パネリストと会場参加者のパネルディスカッションを行います。

● 認定産業医研修の単位 ●

★ 基礎後期:1.5単位 生涯専門:1.5単位

☆☆☆☆ 皆様のご参加をお待ちしております! ☆☆☆☆

第9回豊の国産業保健フォーラムのページ(リーフレットのダウンロードもできます)

[http://www.oita-sanpo.jp/H20\\_training/H20\\_forum.htm](http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_forum.htm)

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

■ 産業医研修

▼10月25日(土)

時間:15:00~17:00

会場:大分県南地域産業保健センター(佐伯市医師会)

「ストレスに関連した口腔内疾患」 安東 俊介(特別相談員)

★単位数 基礎研修:後期 2 生涯研修:専門 2

▽11月8日(土)

時間:13:00~15:00

会場:大分県北地域産業保健センター(中津市医師会)

「局所排気装置の基礎知識」~フードの形状の違いによる効果の確認(実習)~

田口 信康(基幹相談員)

★単位数 基礎研修:実地 2 生涯研修:実地 2

▽11月8日(土)

時間:15:00~17:00

会場:大分県北地域産業保健センター(中津市医師会)

「有機溶剤使用職場のリスクアセスメント」(某企業診断の具体的実施例)

古庄 義彦(特別相談員)

★単位数 基礎研修:後期 2 生涯研修:専門 2

▽11月17日(月)

時間: 18:30～20:30

会場: 大分県医師会館

「じん肺診断書の作成(実習)」 津田 徹(特別相談員)、大神 明(特別相談員)

★単位数 基礎研修:実地 2 生涯研修:実地 2

▽11月19日(水)

時間: 18:30～20:30

会場: 豊肥地域産業保健センター(豊後大野市医師会)

「安全(健康)配慮義務」～過重労働(法改正を中心に)、メンタルヘルス、パワーハラスメントを  
中心に～田吹 好美(基幹相談員)

★単位数 基礎研修:後期 2 生涯研修:更新 2

▽11月25日(火)

時間: 18:30～20:30

会場: 大分産業保健推進センター 会議室

「職域における睡眠呼吸障害の問題点と対策」 津田 徹(特別相談員)

★単位数 基礎研修:後期 2 生涯研修:専門 2

産業医研修のページ

[http://www.oita-sanpo.jp/H20\\_training/H20\\_doctor.htm](http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_doctor.htm)

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

■産業看護職等研修

時間: 14:00～16:00

会場: 大分産業保健推進センター 会議室

▼10月15日(水)

「労働者の健康保持増進をめぐる動向」 田吹 好美(基幹相談員)

▼10月27日(月)

「有機溶剤使用職場のリスクアセスメント」～某企業診断の具体的実施例～  
古庄 義彦(特別相談員)

産業看護職等研修のページ

[http://www.oita-sanpo.jp/H20\\_training/H20\\_sangyokango.htm](http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_sangyokango.htm)

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

■衛生管理者・安全衛生担当者・事業主・看護職等研修

時間: 14:00～16:00

会場: 大分産業保健推進センター 会議室

▼10月7日(火)

「健康情報とプライバシーの保護」 油布 文枝(基幹相談員)

▼10月30日(木)

「働く母親のための歯と口の話」 安東 美幸(特別相談員)

▽11月14日(金)

「メンタルヘルス」～メンタルヘルス対策としてのパワハラ・セクハラ問題にどう対処するか～  
三角 順一(大分産業保健推進センター所長)

▽11月26日(水)

「職場のメンタルヘルス」～予防と対策～ 南 裕二(特別相談員)

衛生管理者・安全衛生担当者・事業主・看護職等研修のページ

[http://www.oita-sanpo.jp/H20\\_training/H20\\_eisei.htm](http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_eisei.htm)

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

=====  
■カウンセリング研修

時間: 18:30～20:30  
=====

▼10月14日(火)

会場: 大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」2階 大会議室

「積極的傾聴のグループワーク」 渡嘉敷 新典(基幹相談員)・佐用 槇子(特別相談員)

▽11月11日(火)

会場: 大分産業保健推進センター 会議室

「事例検討」 渡嘉敷 新典(基幹相談員)

カウンセリング研修のページ

[http://www.oita-sanpo.jp/H20\\_training/H20\\_cau.htm](http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_cau.htm)

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

平成20年度 産業保健研修会トップページ

[http://www.oita-sanpo.jp/H20\\_training/H20top.htm](http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20top.htm)

---

■ ■ 新着情報 ■ ■

新着冊子のご案内

● 「産業保健おおいた」 2008年秋号

★主な内容

・巻頭言「女性の社会進出と産業医の役割」

宮川 勇生((財)西日本産業衛生会大分労働衛生管理センター 所長)

・事業場だより「(株)フジボウソーイングの安全衛生管理」

杵島 良仁((株)フジボウソーイング 取締役工場長)

・相談員の窓

「高脂血症の管理」 木下 昭生(基幹相談員)

「バーンアウトとメンタルヘルス」 上野 徳美(基幹相談員)

「局所排気装置の基礎」 田口 信康(基幹相談員)

etc.

新着パンフレットのご案内

- relax 職場における心の健康づくり～労働者の心の健康の保持増進のための指針～  
(厚生労働省)
- こころの健康 気づきのヒント集 (厚生労働省)
- 職場における自殺の予防と対応 (厚生労働省)

図書・ビデオ等の貸し出しのお申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/index.cgi>

図書・ビデオ・機器貸出し トップページ

<http://www.oita-sanpo.jp/kasidasi/2008kasidasi.htm>

---

※メールアドレスの変更、配信停止、ご意見・ご感想は、[info@oita-sanpo.jp](mailto:info@oita-sanpo.jp) までお願いします。

皆様のご意見をお待ちいたしております。

今月も最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

■ ■ ..... ■ ■  
Oita Occupational Health Promotion Center

独立行政法人 労働者健康福祉機構

大分産業保健推進センター

〒870-0046 大分県大分市荷揚町 3-1 第百・みらい信金ビル 7F

TEL:097-573-8070 FAX:097-573-8074

<http://www.oita-sanpo.jp> / E-mail: [info@oita-sanpo.jp](mailto:info@oita-sanpo.jp)

■ ■ ..... ■ ■